

## 平成23年度 アクションプログラムの取組事例

No. 5

取 組 名	「ワッカ原生花園」の外来種駆除及び清掃活動
流 域 名	網走東部
森林管理署等	網走中部森林管理署
実 施 日	平成23年6月22日
実 施 内 容	<p>北見市常呂町のサロマ湖畔自然休養林内にある「ワッカ原生花園」は北海道遺産となっており、ハマナス、エゾスカシユリ、ハマヒルガオ、ハマボウフウなどが見られます。</p> <p>しかし、北米原産の外来落葉低木イタチハギが侵入繁殖し原生花園の景観や生態系を損ねています。</p> <p>そのため、繁殖力の強いイタチハギを除去し在来種の保護を図ること及び景観の維持を図ることを目的に網走中部森林管理署が中心となり、ボランティアを募りイタチハギの除去作業及び清掃活動に取り組んでいます。</p> <p>平成23年度は6月22日に、北林会(国有林OB)、(財)日本森林林業振興会、(社)森林林業土木協会、常呂総合支所、ところ街づくり合同会社等から総勢58名のボランティアが参加し、せん定ばさみやノコ等を使用して全体の5分の1ほどを除去するとともに、サロマ湖公園沿い防風林内でゴミの清掃活動を行いました。</p>
反 響 等	<p>「ワッカ原生花園」のイタチハギの除去作業と清掃活動の取組みは始めて2年しか経っていませんが、来年以降も継続的に取り組むことと併せ、取組みの輪を拡げることが重要です。</p> <p>また、この取組みが地元新聞等で取り上げられるなどの反響がありました。</p>
参 考 資 料	
○イタチハギ駆除作業	○道々側溝のゴミ拾い
	